

さつき
皐月

早苗を植える「早苗月（さなえづき）」から。
「皐」という文字には、水田という意味があります。

令和3年度 第44回入学式 49名の新1年生が入学しました



4月7日（水）本校・体育館において入学式が行われ、49名の新しい仲間が桜木小学校に入学しました。新型コロナウイルス感染防止の対応のため、参加者を児童と保護者に限定し、式の内容を絞っての実施でした。新1年生は、初めは緊張した面持ちでしたが、しだいに雰囲気にも慣れ、しっかりと校長先生のお話を聞いたり、歓迎の映像を楽しんだりすることができていました。これからこの桜木小学校で、日々いろいろなことを学び、学校生活や行事を楽しみながら、すくすく成長して行ってほしいと願っています。がんばれ！新1年生のみんな（*^_^*）



ありがとうございます

入学式にあたり、「北斗ふれあいサークル」の方々がお祝いの花を生けてくださいました。ご厚意に感謝いたします。ありがとうございました。m(_ _)m



2～6年で標準学力検査を実施しました

4月14日（水）・15（木）の2日間にわたり、標準学力検査を実施いたしました。どの学年も、一生懸命、自分の力を発揮しようと問題用紙に向かう児童の姿が見られました。



交通安全指導が実施されました



4月8日（木）・9日（金）・12日（月）の3日間、1年生で交通安全指導が行われました。初日は、交通安全指導員の方々から、交通事故に遭わないための、大事なポイントについてお話がありました。それは、次の二つです。

- 「ぜったいに走らない」
- 「きゅうにとび出さない」



子どもたちは、日を追うごとに、家までの道のりを覚え、交差点では安全を確かめながら、通行する力を身に付けていきました。子どもたちが安全な登下校ができるよう、ご家庭におかれましても、再度、ご指導をお願いいたします。

グループ別参観にご協力お願いします

4/23（金）配布文書でお知らせしましたが、5/6（木）～参観日が行われます。参観中の密を防ぐために、出席番号で①②③の三つのグループに分け、時間でご入替を行い実施します。グループは、プリントでご確認ください。

「認証式」が校内放送で行われました

4月14日（水）校内TV放送にて、「認証式」が行われました。委員を代表して、委員長さんが校長先生から認証を受けた後、一人一人がこれからどんな活動をしていきたいか、決意とともに、自分の言葉でしっかりと語っていました。校長先生からは、委員さんに対する期待と共に、「委員以外の人たちの協力や頑張りが桜木小学校をよりよい学校にしていくために大切です」というお話がありました。書記局の人たちを中心に、自治活動を高めていって欲しいと思います。



5/8（土）地域公開日が中止となります

5月8日（土）に予定されていた「地域公開日」ですが、中止とさせていただく判断をさせていただきました。感染防止からの対応です。ご理解をいただければ幸いです。

お詫びと訂正 ～氏名に誤りがありました

学校日より『さくらぎ』NO.1の職員紹介の給食配膳員の〇〇〇〇さんの氏名が間違っておりました。お詫びいたしますと共に、訂正させていただきます。大変申し訳ありませんでした。

新型コロナウイルス感染防止の対応にご協力をお願いいたします

新型コロナウイルス感染防止については、今年度もご家庭としっかり連携を図りながら取組を進めてまいります。ご家庭には、ご理解とご協力をお願いすることになりますが、よろしくお願いいたします。

【登校前】：ご家庭での対応をお願いいたします。

- ①検温・健康状況の観察をお願いします。
- ②『健康調査シート』に記入してください。
- ③児童に『健康観察シート』を持たせてください。

★次の場合は、家庭での休養、また、病院の受診等をお願いします

- 発熱
- 風邪症状がある
- 家族に発熱や風邪症状がある

★桜木小学校における「基本的対応」について

- 【換気】 「常時換気」をしています。
室温に応じて、窓を開ける間隔を調節します。
上着等で調節を行います。

【手洗い】 「手洗いの6つのタイミング」

- ①外から教室に入るとき ②トイレの後 ③給食の前後
- ④掃除の後 ⑤咳やくしゃみ、鼻をかんだ後
- ⑥共有のものをさわった後

- 【給食】 「配膳」は担任が行います。
「ランチョンマット」を使用します。
全員前を向いて、静かな状態で喫食します。

- 【消毒】 教室内の児童の手の触れる場所を消毒します。
階段手すり・玄関ドアノブ等・手洗い場（蛇口）
・トイレのレバーの消毒も適宜行います。

「三密の回避」

条件が重ならないよう注意しています

- 距離
- 向き
- 人数
- 広さ
- 換気
- 時間

+

- マスクの着用を原則としています。
- 対面形式となるグループワーク、実験、鑑賞等の活動は、上記の6つの条件が重ならないよう配慮して行います。
- 音楽の合唱やリコーダー、鍵盤ハーモニカ等は、向きをそろえ、距離を十分にとり、人数を絞って、さらに時間を短くして慎重に実施しています。
- 調理実習については、特に慎重に進めることとし、現段階では調理したものを飲食する活動は実施していません。

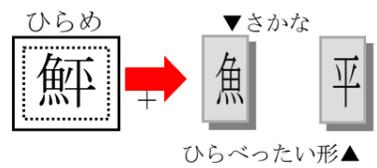
ちえ
智慧之輪



「知る」ことで見えてくる世界がある

題：「絞」を知ると、布を絞れるようになる？

昼に子どもたちと清掃活動をしています。ホウキで床を掃き、雑巾で机などを拭くのですが、濡らした雑巾を「絞る」のに苦戦している子どもが見られました。自分は小学生の頃、剣道を習っていたので、竹刀を振る中で自然に絞る方法が身に付いたのですが、便利になった私たちの生活の中で、絞ることを実践する機会は、少なくなってきたのかもしれない。



千歳中に勤務していた時、入学説明会にやってきた小学6年生に、左の例を示して「漢字は分けると分かっていくことがある」という話をしました。すると、一人の児童が手を挙げて、「先生、では『鯀（さめ）』にはどうして『交わる』という文字が付いているのですか？」と質問してきたのです。この問題意識には、驚きました。『交』という文字には、「まじわる」という意味の他に、「くねる」という意味があります。サメには固い骨格がなく、獲物にかみついた後は体をくねらせて噛みちぎる。そのイメージが結びついてできている文字と言えます。

絞るの『絞』という文字は、「糸」と「交」に分けられます。これはつまり、「糸（ぬの）」をくねらせること。その知識（イメージ）があれば、雑巾を絞ることは、握るのではなくひねる動作として結びつき、行動化の助けになるかも知れません。

人は何かを知ることによって考えを深め、その結果、行動が変化していきます。それが学習の目的です。知識は、たくさん溜め込むことに意味があるのではなく、使うことで自分の生き方を高め、生活を豊かにしていくことに価値があるのです。そしてその時、「知識」は「智慧」となります。これからこのコーナーでは、私たちの日常生活の中にある、様々なモノやコトの中にも含まれている「知識（智慧）」にスポットを当て、皆さんと考えていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。